

清掃施設の CO2 発生量について (No.1-②)

前提条件

プラスチックと雑がみの選別施設については、ごみを選別した以降（製品化等のための引き取り～製品）は、本市の業務ではないことから推計していない。

（例えば、プラスチックでは指定法人等が引き取り、製品化を実施）

1 CO2 発生量

(1) ごみ焼却は 3 清掃工場の合計で、約 98,095t の排出となる。

① 清掃工場の運転に必要な用役分(発生分) 約 3,670t

② ごみ焼却に伴う発生分 約 152,977t

③ 場外に発電及び熱利用をすることによる削減分(化石燃料を減らせる分)

▲ 約 58,552t

上記、①～③を差し引きすると、約 98,095t

(451,323t のごみ処理、ごみ処理 1t あたり、0.2173t の CO2 が発生)

(2) ごみ埋立は、2 埋立地の合計で、1,329t

(98,034t のごみ処理、ごみ処理 1t あたり、0.0136t の CO2 が発生)

(3) プラスチックと雑紙の選別施設からの 2 施設の合計で、約 1,000t

(43,686t のごみ処理、ごみ処理 1t あたり、0.0229t の CO2 が発生)